

# 厳しくなる農道整備 観光資源の有効利用

## 建設産業委員会

委員長／牧村 隆  
副委員長／五十川省五  
委員／坪井 澄夫  
安田 正治  
久保田重男  
倉地 幸子

12月14日開催

### 主な審査の内容

#### 〈付託案件〉

- 平成17年度
- 土木土地改良事業の経費の分担徴収
  - 下水道条例の一部改正
  - 一般会計補正予算
  - 温泉施設特別会計補正予算

よ。

**Q** 過去に、舗装された農道の傷みがひどい。再舗装せ

計画は2本程度計画。

**A** 現在の累計償還金額は、1億4千万円、年間舗装

道舗装計画は。

**Q** 農道及び排水受益者負担金が、現在の償還金額、今後農道舗装計画は。



鶏の飼育状況を検査

**A** 家畜保健所が巡視、町職員も同行し注意している。

**Q** 養鶏場への鳥インフルエンザの対応は。

**A** 持ち運びが便利のように工夫した。

**Q** 観光パンフレットが他町より見劣りする。

**A** 予算規模が70億から60億に推移する中で、重要なものを精査又は工法の見直しを行う。

**Q** 厳しい予算での総合計画の進め方は。

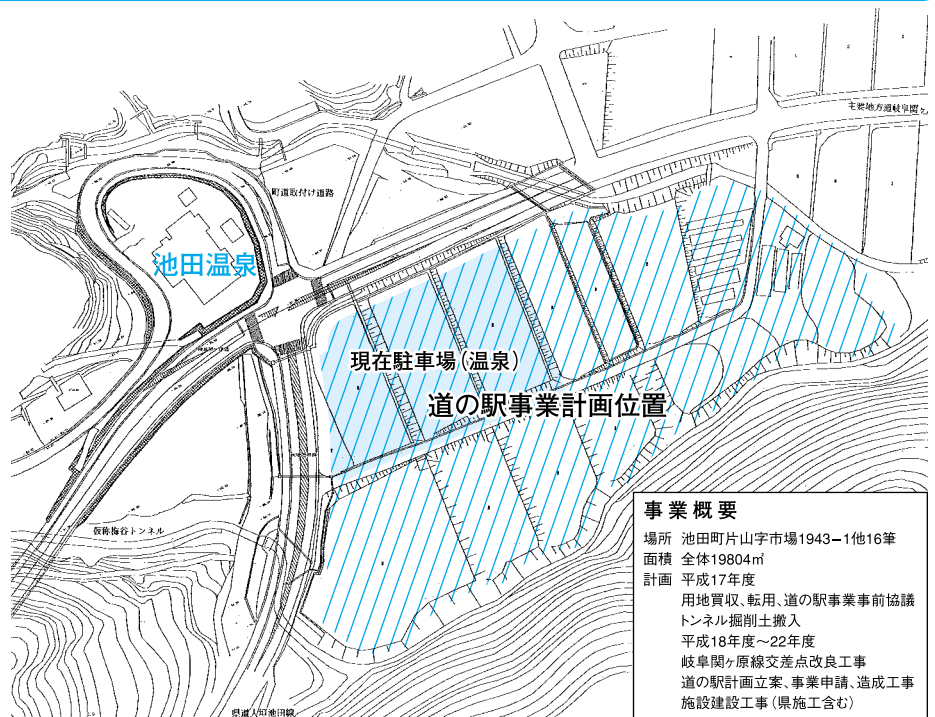
**A** 農道の補修、整備に集中投資していく。

## どうなる、道の駅

委員会終了後、ただちに協議会が開かれ、町より「道の駅」の構想の説明を受け活発な質疑が行われた。

来年より「道の駅」は県に申請を出し、土地代金も含めて総工費3億〜3億5千万円の事業費用を考えている。

埋め立て用の土砂は、土砂置き場として農地転用した場所に置いているとのことであった。委員会としては議会にもっと早く情報を流すよう要望。



**事業概要**

場所 池田町片山字市場1943-1他16筆  
面積 全体19804㎡  
計画 平成17年度  
用地買収、転用、道の駅事業事前協議  
トンネル掘削土搬入  
平成18年度〜22年度  
岐阜関ヶ原線交差点改良工事  
道の駅計画立案、事業申請、造成工事  
施設建設工事（県施工含む）